

良導絡チャート診断から読み解く (循環器疾患の良導絡治療)

良導絡専門師
鈴木 利也

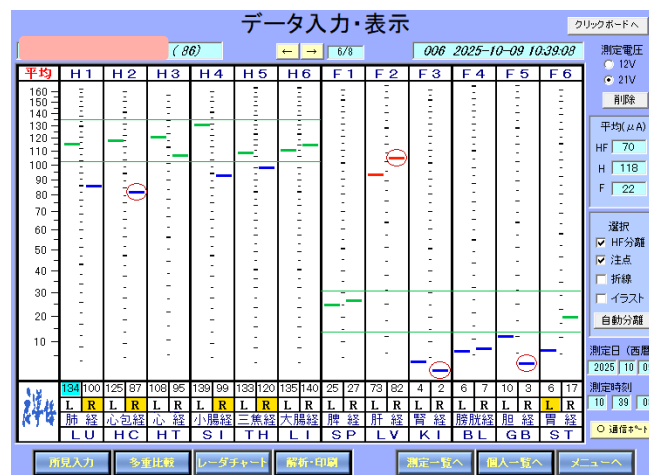
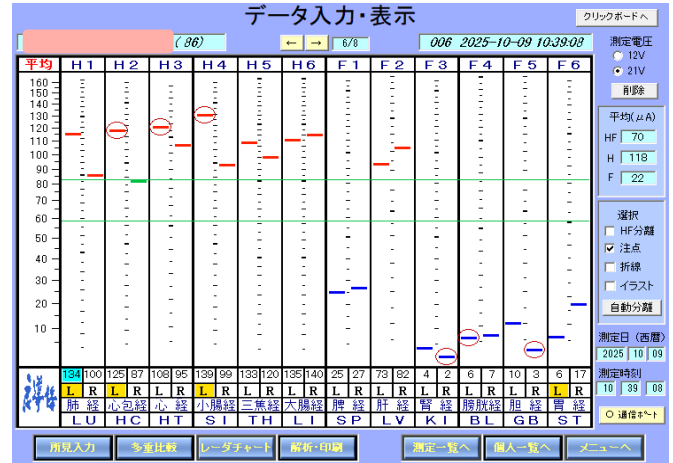
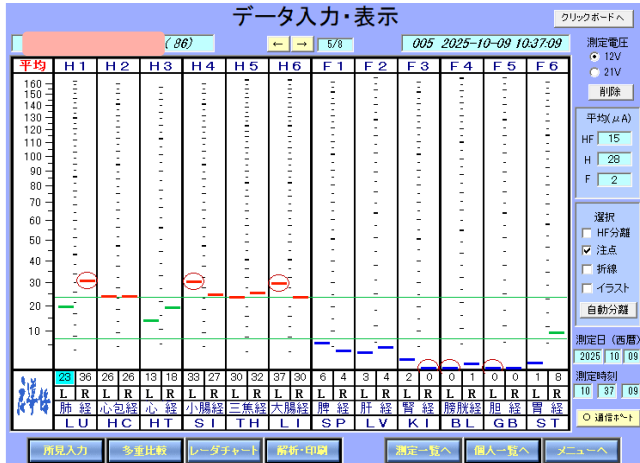
私たち鍼灸師が患者様の体調を客観的に知る事の出来る唯一の検査法が良導絡自律神経測定です。
西洋医学と東洋医学の両面から診ることが出来、誰が測定しても同じ検査結果を出す事が出来ます。
カルテをもとに治療点を導き出し刺激量を把握して施術をして行くことが大切です。
下記のチェックポイントを考えながら良導絡チャートを見ていきましょう。

- ★左右差、H・F分離、拡大測定を積極的に使しましょう
- ★術前診断、術後評価のチャートをとる
- ★日頃から良導絡測定をして個人のチャートパターンを把握し比較をする
- ★チャートの興・抑、左右差より問診、体表診察、筋硬結、筋緊張、運動動作などから読み解いていく

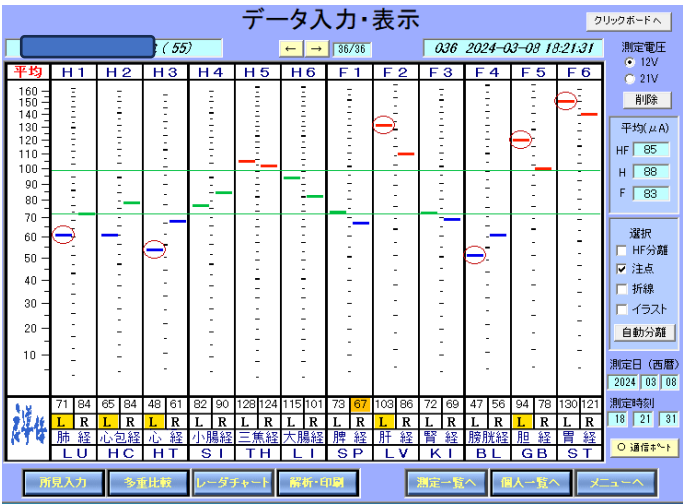
今回は高血圧症の2症例、心疾患の既往歴が有る産後の症例1症例を紹介する
高血圧はH2血管良導絡(心包経)・H3心良導絡・F2肝良導絡・F3腎良導絡が深く関係していると考える。

症例① 非細胞肺癌・縦隔リンパ節転移・肝臓転移
右肺上葉内側に放射線治療

1日1回・5週 総回数30回(2025/8/19から10/1迄)



症例①-2 過度のストレスによる急性高血圧



症例② 左ドケルバン病

職業：プロゴルファー

産後6ヶ月で発症し来院

既往歴に心疾患が有り医師に普通分娩は進められないと
診断を受けるが普通分娩により出産

